



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2 秩父宮記念体育館内
URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

スポーツシンポジウム2023 これからの藤沢のスポーツ

市制記念日の10月1日(日)午後2時30分から、藤沢市スポーツ連盟主催による「スポーツシンポジウム2023」が、“これからの藤沢のスポーツ”をテーマに開催。
第1部は益子直美さん(女子バレーボール元日本代表、日本スポーツ少年団本部長)による基調講演。
第2部は市内の中学生、高校生も参加してのパネルディスカッション。
連盟所属の関係6団体を中心に、170名を超える市民が参加

第1部 基調講演

「監督が怒ってはいけない大会を 開催した理由」

舞台上手でマイクを手に、ご自分のバレーボール競技経験や監督が怒ってはいけない大会を始めた経緯を、率直に、わかりやすく、パワーポイントを上手に



益子さん

使い、益子さんは語られた。
部活動における監督からの暴言やパワハラ指導などが、ニュースとなる今日、「怒る指導」ではなく、子どもたちが「スポーツは楽しい」と

「スポーツは楽しい」と
「スポーツは人生を豊かにし、人間力を育てる」というコンセプトは、これからの藤沢のスポーツを考えるうえで大切なことと思う。

きるような環境にしていけるにはどうしたらよいか、これからのスポーツの指導のありかたについて、ご自身のご経験をもとに講演された。
終了後は、大きな拍手が会場から寄せられた。

第2部 パネルディスカッション

「これからの藤沢のスポーツ」

パネリストに、新海さん(地区社体協連合会会長)、石井さん(スポーツ推進委員協議会副会長)、田原さん(日大藤沢サッカー部)、有田さん(日大藤沢サッカー部)、佐々木さん(湘洋中バスケット部)、大塚さん(湘洋中バ



アドバイザー

スケルト部)の6名、アドバイザーに益子さん、仰木さん(慶應義塾大学政策・メディア研究科教授)、坪谷さん(湘洋中学校長)の3名、コーディネーター役に宮川さんという皆さんで始まった。

「皆さんの活動は、地域との繋がりは」

(敬称略)

■新海 地区レクを3年ぶりに行えた。地域の社会体育協議会は、地域の自治会活動を支えている。社会体育協議会にとつては若い人の参画が大切である。

■石井 高齢化が進む中で、ニュースポーツを通して活力ある地域にしたい。

■田原 サッカーを通して、藤沢市のスポーツが良くなるように、頑張りたい。

■有田 この経験をこれからの生活に生かしたい。サッカーは応援によって力を得る。選手権を目指して頑張っている。

■佐々木 バスケット部の3年間は、つらいこと、楽しかったことがあるが、自分にとつては良い経験であった。顧問の先生は熱意がある。一般の方が指導者になると不安もある。

■大塚 バスケット部ではあるが「なでしこのサッカー」にも関心があり、地域でのスポーツに生かしたい。地域移行のことは初めて知った。



パネリスト

スポーツまつりふじさわ2023

11月12日(日)秋葉台文化体育館、球技場と秩父宮記念体育館でスポーツまつりふじさわ2023が開催されました。

秋葉台会場は小雨の降る肌寒い天気の中で各種催し物の準備が進められ、開始時間の9時30分には雨も上がり曇天の中、スポーツまつりが開始されました。

開始当初は雨が上がったばかりの為か来場者が少なかったが徐々に来場者が増えて体育館内の種目(キッズコーナー、ボッチャ、フライングディスク、トランポリン、バルーンアート、缶バッジ等々)が小さな子供を連れた家族連れで賑わい始め、遅れて球技場及び多目的広場の種目(ラクロス体験、ターゲットバードゴルフ体験、グラウンド・ゴルフ体験、バスケットボール、モルック等々)にも多くの家族連れ、子供、若い方のグループ、高齢者が来場され、それぞれの種目を体験していました。

体育館入り口では野菜販売、キッチンカー、豚汁・焼きそば・綿菓子等の店が開き賑わいました。

また、東京五輪の金メダリストの山田恵里さんも来場され、ラクロス等を子供達と一緒に体験されました。



家族で楽しむ



グラウンドゴルフ



バスケットボール体験



スポーツクライミング

秋葉台会場 ー多目的広場ー

小雨まじる寒い朝からの開催となりましたが、多くの参加者で賑わいました。

参加者の中には小学校時代にゲートボールを経験した人もいて大変懐かしいと喜んでいました、・・・さすが大変上手でした。

子供達は、第1・2・3ゲートを通るたびに大喜びし、貴重な体験を積んだことと思います。大人達は、体験だけでなく、競技方法やルールを聞いてくる人もいて、解説書を配布説明し理解を頂きました。大変楽しい有意義な一日を過ごすことができました。

(田口)



ゲートボールを楽しむ



秩父宮会場

秩父宮記念体育館では、肌寒いせいか午前中の人出は少なかったが、5階の太極拳会場は、親子連れの皆さんが参加し、静かではあるが、強弱のある運動の手ほどきを受けていました。

栗原レクリエーション協会会長も体育館に来られ、「元気よくスポーツをしましょう。」と話されました。

(杉淵)



太極拳体験

〔1面4段から引き続き〕

〔藤沢のこれからのスポーツについて〕

■新海 運動の大切さを知ること、地域の社会体育の大切を知ることが、今後の健康寿命を延ばすことにつながるのではないかと。

■石井 見ることより、参加してやるのが大切である。そのために、世代を通じて楽しめるスポーツまつりに参加してほしい。

■田原 日藤のサッカー部として、全国で戦えるようにしたい。藤沢の皆さんに一体感を持っていただけるとうれしい。

■有田 サッカー部が頑張りを、多くの人に元気を与えたい。

■佐々木 地域のレクリエーション大会に友人たちと出てみるようにしたい。

■大塚 地域のイベントに参加していきたい。

■益子 中高生の皆さんの意見は素晴らしい。ぜひ運営にも関わり、活躍してほしい。ドイツでは、スポーツ関係の団体の理事に18歳の人もいます。部活は、海外とは異なる日本の文化であり、素晴らしい面がある。また、異なるスポーツの経験をするのも大切である。そのためには、余裕を持たせると良い。

■仰木 地域移行については、国、県、市で議論されている。課題は事故が起きた時の対応である。これからは、藤沢ならではのスポーツがあっても良い。海や江の島があり、その特性を生かしたスポーツを育てるのも良い。神奈川の子どもの体力は、全国的には低い。スポーツの機会を全体的に広めることが大切であり、体を動かすことが必要である。

■坪谷 学校現場では地域移行の議論は進んでいない。だが、地域移行の機会を、気軽にスポーツを楽しめるチャンスである。教職員の意識の向上、地域との連携を図ることが大切である。

(文責 杉淵)

地域スポーツを推進するために

市教育委員会が行う表彰に「体力づくり運動推進功労者表彰」があります。この表彰候補者の推薦のため、毎年体育協会では加盟団体にふさわしい候補者の推薦を依頼しています。2023年度は、11団体から、11人の推薦を受けました。

表彰対象者は、地域社会で7年以上、スポーツ、レクリエーションの普及奨励のため、指導助言に率先、推進し、現在もスポーツ、レクリエーションを熱心に指導、助言している方です。

2023年度は、9月9日(土)に行われた表彰式で、29人の皆さんが表彰されました。地域スポーツが継続、推進されるために、ますますの活躍を期待したい。



表彰式

第39回 スポーツ人の集い

新年の2月24日(土)に、藤沢スポーツ賞の表彰式と併せて、慶應義塾高等学校の野球部前監督の上田誠氏を講師に迎え、講演会を開催します。

今年の全国高校野球選手権大会で107年ぶりに全国優勝を果たした慶應義塾高等学校の自分たちで考える野球は、全国の野球ファンのみならず、スポーツを楽しむ人たちを魅了しました。



11月19日(日)にゲートボールの市民総体継承大会を開催しました。天気に恵まれた一日、市内各地から、10チーム、51人の皆さんが参加し、ユニバーサルスポーツを楽しみました。

ゲートボールは年齢、性別、身体的状況、言葉などの違いに関係なく、すべての人が楽しむことができる戦略的要素を持つ「ユニバーサル」スポーツです。単純にゲート通過を競うのではなく、チーム全員で勝利を目指し、作戦を立てながらゲームを組み立て勝利を目指す面白さがあります。一人だけがうまくても勝てず、「仲間」と切磋琢磨し、力を合わせてこそ勝利できるチームスポーツです。又、高齢者にとっては、ボケ防止にも、なっています。

市民総体継承大会 ゲートボールを楽しむ

藤沢市ゲートボール連合
理事長 平尾 洋 二



全国ベテランテニス大会 優勝

10月1日から福岡市で第85回全日本ベテランテニス選手権大会が行われ、女子45ダブルスで本鶴沼在住の塚本ひとみさんと梅田真由美さんが優勝されました。



梅田さん・塚本さん(右)

この大会は年間ランキング上位24ペアによって行われる最高峰の大会です。昨年は第1シードながらベスト4と残念な結果でリベンジをと挑んだ今大会でした。日頃から本市宮原のリーファテニスガーデンで練習を重ねるママさんペアです。2連覇に向かい挑戦していく気概を感じさせられました。(平野)

全国で活躍する 藤沢アスリート



道合流伝神櫻
代表 櫻井 利 蔵

今年6月の東北日本居合道大会で優勝し、その勢いのまま7月の第58回全日本居合道大会県予選で、六段代表に選んでいただきました。五、六、七段各1名ずつの神奈川県チームで結果は5位でした。居合道は決められた技をどれだけの理合をもって正しく演武できるかを競う競技です。なかなか見慣れない武道ですが、自分なりの剣居一体を目指して今後も稽古に励みたいと思います。

藤沢アスリート

中学生3名が 関東大会・全国大会に出場

今夏、藤沢市の中学生3名が関東大会・全国大会に出場しました。茨城で行われた関東中学校陸上競技大会には、男子800mに第一中学校の堀江満貴さん、男子3000mには鶴沼中学校の小池大晴さんが出場しました。また、女子100mHに出場した大庭中学校の近藤優羽さんは見事3位となり、神奈川県的女子総合優勝に貢献しました。



鶴沼中学校
小池 大晴さん



大庭中学校
近藤 優羽さん

また、愛媛で開催された全日本中学校陸上競技選手権大会では、男子800mに第一中学校の堀江満貴さんが出場。

また、関東大会とは違う種目(男子1500m)で挑んだ鶴沼中学校の小池大晴さんは決勝進出を果たしました。そして、女子100mHに出場した大庭中学校の近藤優羽さんは、トライアルレース(予選9~16位のレース)で1位となり、全体では9位相当という素晴らしい結果を残してくれました。3名とも神奈川県の代表として大いに頑張ってくれました。



第一中学校 堀江満貴さん

藤沢市ダンススポーツ連盟

藤沢市ダンススポーツ連盟は、日本ダンススポーツ連盟・神奈川県ダンススポーツ連盟の傘下でダンススポーツ(社交ダンス)の普及発展を推進している競技団体であり、2003年に藤沢市体育協会に正加盟しました。

毎年、日本ダンススポーツ連盟公認の藤沢市ダンススポーツ競技大会を開催すると共に、神奈川県選手権大会・関東甲信越ブロック大会・全国ジュニア大会等を、秩父宮記念体育館メインアリーナで開催してきました。

しかし、来年に関しては必須条件とされているパネル敷きの費用問題とパネル床面の安全上の観点から残念ながら開催を見送ることとなりました。

柴田真理子会長は日本ダンススポー

ツ連盟の公認審判員資格を有し神奈川県連盟の副会長も兼任しています。ダンススポーツは中学校の体育の選択科目にも認定されており、姿勢正しく美しく健全健康なスポーツです。特に高齢者の健康増進・認知機能の低下予防に効果があると云われ、公民館では高齢者のサークル活動が盛んです。(渡辺)



ダンススポーツ連盟の皆さん

編集後記

今年も老若男女のアスリートの活躍が目覚ましい。紙面では十分に取り上げることができないが、その活躍を支えているのは、藤沢の地域スポーツの充実を担われている方々がいることを忘れてはならない。

・晩秋の休日に引地川沿いの親水公園を歩いてみた。球技場では少年のサッカー大会が行われていた。天神橋の左岸側にある広場では、子ども連れの家族が、バレーンづくりを楽しみむなど、好きなだけ遊んでいた。

・また、簡単に体力づくりができる器具が公園内に設置され、親子で楽しむ姿が印象的であった。

(杉渕)